

●「十鉄支援は難しい」(09/20 18:52)

十和田観光電鉄への財政支援を巡って、十和田市の小山田市長が同じ沿線の三沢市長や六戸町長と対応を協議した。小山田市長は「支援は難しい」という認識を改めて示した。

十和田市の小山田市長はきょう三沢市の種市市長と六戸町の吉田町長を相次いで訪ね、十和田観光電鉄への財政支援について協議した。

十和田観光電鉄は鉄道事業を続けるため、十和田市と三沢市、六戸町に今後10年間で5億円を超える財政支援を求めている。

小山田市長は会談終了後「税金の使い方として、いかがなものか」などと述べ、財政支援は難しいという認識を改めて示した。

また種市市長や吉田町長も同じように「支援は厳しい」との認識を示した。

沿線自治体は来月上旬までに財政支援をするかどうかを判断し、十和田観光電鉄に結論を伝える。

この問題を巡って十和田市ではきのう夜、市民グループによる緊急フォーラムが開かれた。市民からは時間をかけた議論を求める意見を含め、鉄道の存続を望む声が相次いだ。

十和田市で開かれた緊急フォーラムには市民60人が集まり、十和田観光電鉄の社長や市の担当部長を交えて意見交換した。

市民からは「鉄道が無くなると街が廃れる」とか、「鉄道のほうが環境に優しい」などと、存続を望む声が相次いだ。

また「90年の歴史は重く、議論する時間が少な過ぎる」など、時間をかけた議論を求める意見も多く出された。

十和田観光電鉄は来月上旬までに沿線自治体の判断を受けて、鉄道事業を続けるかどうか決める方針。

